

新花巻図書館整備に係る市民意見交換会（リモート開催）

■日 時 令和3年1月31日（日） 10:00～12:15

■参加者 11人

（○生涯学習課 菊池）

皆さん、こんにちは。予定の時間となりましたので、新花巻図書館整備に関する意見交換会、リモート開催を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。初めに、本日のタイムスケジュールを皆様にお伝えしたいと思います。

ただいま10時から開催いたしまして、現在タイムスケジュールの確認を行っております。最初5分間ぐらい説明をさせていただきます。そのあと、新花巻図書館の整備について、市川生涯学習部長からご説明させていただきます。おおよそ35分ぐらいの説明になります。なお、本日は建設部の遠藤部長にもご同席をいただいております。説明は、パワーポイントの資料を皆さんの画面に映しながら、説明をしていきます。そのあと10時40分頃からです。意見交換をさせていただければと思います。自由に順番にと表示しておりますが、手挙げ機能というのがありますので、後で説明いたしますが、手が挙げた順番で意見交換できればと考えております。できるだけ皆様の声を聞いていきたいと思っておりますので、ぜひご発言をお願いします。意見交換ですが、時間はおよそ1時間程度と考えております。最大でも12時、お昼には終了したいと考えておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

次に、リモートの操作についてご説明いたします。ただいま表示しておりましたけども、まずはパソコンの操作です。3段表示しておりますが、上段の表示です。皆さんの画面の恐らく下のほうに表示されていると思います。左のほうから時計、それからカメラのオンオフ、マイクのオンオフ、真ん中の二つは今回はこちらで操作いたしますので、皆さんのほうでは使わないということになります。次に、手のマークがありますが、こちらが手挙げのボタンになります。これを押しますと、手を挙げましたよという意思表示になりまして、こちらのほうに合図が来る仕組みとなっております。次に、チャットというボタンですが、こちらからキーボードを入力できるという仕組みとなっております。さらにその隣に人が2人並んでいるようなボタンがあります。こちらは参加者を表示するボタンです。このボタンを押しますと、パソコンですと右側のほうに今どのくらいの人に参加しているかというのが表示になります。最後、赤いボタンですが、これは切断ボタンです。こちらを押されますとこの会議から抜けてしまいますので、気をつけていただきたいと思います。次に、スマートフォンの操作です。ボタンの機能はですね、パソコンとほぼ一緒なんですけど、違うところです。その他の操作というのがボタンの真ん中に、先ほどのチャットや参加者表示のボタンが入っております。チャット表示や参加者の表示が入っております。

最後、注意事項を申し上げましてから説明に入りたいと思います。先ほども申し上げましたが、質問・ご意見などありましたときは、手挙げのボタンを押しますとこちらのほうで分

かる仕組みになっております。そしてマイクをオンにしてご発言をお願いします。ご発言が終わりましたら、マイクはオフにすることをご協力ください。なお、参加者のマイクですが、こちらのほうでオンオフ操作する場合がありますので、ご了承ください。それから、最後に意見交換が終了、または途中で退席される場合ですが、切断ボタンで退席になります。間違って退席または、回線の不具合などで、突然通信が切れてしまうということがあるかもしれませんが、その際はもう一度招待メールのリンクからご参加をお願いいたします。以上注意事項になります。

最後に、本日のスタッフを紹介いたします。市川生涯学習部長、それから遠藤建設部長、佐々木生涯学習課長。そして、パソコンの操作で生涯学習課のスタッフ、数名入っております。最後に、私本日進行いたします、菊池と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、早速ですが、説明のほうに入らせていただきます。新花巻図書館整備についてということで、市川生涯学習部長からご説明をさせていただきます。

(○生涯学習部長)

皆さんおはようございます。生涯学習部市川です。それでは、新花巻図書館の整備についてご説明をいたします。なお説明に先立ちまして、今回このリモートでご説明をいたします。この件については記録をさせていただきます。そして皆様からのご意見やご質問、それをホームページ等に出させていただきたいと思っております。お名前は質問者という形で、質問あるいは意見についてをホームページでも紹介したいと思っておりますので、ご了承のほどお願いいたします。

今回の意見交換会は、新しい図書館の建設に際して市議会議員や教育委員を初め、社会教育委員、図書館協議会の皆さんなどからの意見を踏まえまして、これまで市で検討してきた状況と、昨年7月から10月にかけて開催した市民ワークショップについてご説明し、市民の皆様と意見交換をしたいと考えていること。本来であればワークショップ終了後、11月末から意見交換会を開催したいと予定しておりまして、広報にも日程を掲載したところでしたが、コロナウイルス感染症拡大のために、大勢集まるとの開催というのが難しくなる状況の中で、このようなリモートでの開催になったものでございます。また、今回ご説明する件につきましては、ワークショップに参加の皆さんも、今日ご参加いただいておりますが、重なる説明部分も多くなりますが、ご了承をお願いいたします。

それではまず、新花巻図書館整備のこれまでの経緯を説明いたします。現在の花巻図書館は昭和48年度開館で、今年で築47年を迎えます。閲覧スペースが2階にありますが、閲覧スペース不足、またエレベーターがないなど、使用しづらいとの課題がありました。利用年齢層を見ますと、50代以上が約7割、利用頻度も月2〜3回以上の方が約8割という状況です。交通手段は、自動車が76%、公共交通利用者は3%と少ない状況で、つまり自動車で行かなければならないという点、また利用者が限られているなども課題としてとらえておりました。そのような生涯学習の拠点、市街地再生の核として、新しい図書館の整備が求め

られてきたというものでございます。

これまで、平成 23 年 12 月には、公共的団体や図書館関係者、公募委員によります「図書館整備市民懇話会」が設置されまして、ワークショップ等を開催し、24 年 10 月には「花巻図書館への提言」を提出いただきました。その提言に基づきまして、平成 25 年 5 月には「花巻中央図書館基本計画」を策定いたしました。この計画は花巻厚生病院跡地を整備候補地にしたもので、平成 26 年 3 月に厚生病院跡地の土壌汚染が県から公表されまして、結果として図書館整備が中断したというものです。

このような中まちづくりを再検討し、平成 28 年 6 月には、市街地定住を促進し都市機能を誘導する「花巻市立地適正化計画」を定めまして、花巻厚生病院跡地には総合花巻病院が移転することとなりました。

平成 28 年には、24 年度市民懇話会から出されました「花巻図書館への提言」に基づきまして、新しい図書館整備に向けた構想を再構築しパブリックコメント等を経て、平成 29 年 8 月に「新花巻図書館整備基本構想」を定めました。

基本構想はどのようなものかということですが、基本方針といたしまして、前段で本市は宮沢賢治や萬鉄五郎を初めとした多くの先人を輩出し、江戸時代の先人を顕彰した「鶴陰碑」に記された人々は、自らの研鑽に精進し、学術文化はもとより、地域や産業の振興と発展、後継者の育成に努力、花巻には歴史的に学びの風土があり、この精神は次の世代に受け継いでいくべき。新しい図書館は、市民一人ひとりの生活や活動を支援することを基本的に考えながら、先人が育んできた学びの精神を受け継ぎ、図書館が次世代を担う子どもの読書活動を支援し、豊かな心、育てる施設として、また情報を地域や産業の創造に結びつける施設として、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館を目指して、次の三つを基本方針と定めております。

- ・郷土の歴史と独自性を大切にし、豊かな市民文化を創造する図書館
 - ・すべての市民やが親しみやすく使いやすい図書館
 - ・暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館
- ということです。

そして整備方針として、施設に関すること、蔵書資料に関すること、運営に関すること、サービスに関すること分類して、項目立てをしており、例えば施設に関することのうち、ユニバーサルデザインについては、「子どもから高齢者、障がい者、あらゆる利用者がバリアフリーで働きやすい、機能的、効率的な動線に配慮し、利便性や安全性を重視した施設とします。」と定めており、具体的な内容については、今後定めます基本計画において示す予定としているものです。

次に、この基本構想において、建設場所の方針を定めておりますが、それでは利用者が利用しやすい場所で、交通アクセスがよく、わかりやすく、市全域から行きやすい場所で、十分な駐車場も確保できる場所。市街地再生に資する施設として、まちづくりや都市計画に整

合した場所、市街地定住を促進し、都市機能を誘導する「花巻市立地適正化計画」の都市機能誘導区域内、後ほど区域をご説明いたしますが、その区域に整理し、近隣施設との連携、他施設との複合化など、民間との連携も含めて検討し、候補地を数か所選定した上で、基本計画において場所を定める、としております。

また、事業費についても可能な限りコスト削減に努め、まちづくり総合計画や財政計画も踏まえ、建設後の運営費や図書購入費、職員体制などの経費も十分に考慮して、今後計画を進めると示しております。

次に、整備候補地の検討状況についてご説明します。基本構想に置いて示していた「花巻市立地適正化計画」の都市機能誘導区域とは、青い線の線内の区域になります。この区域内に建設、整理する場合は、国の補助金が受けられる可能性が高く、その場合、国の定めに基づき都市再生整備計画を提出すれば、最大で 10 億 5000 万円の補助が可能というものです。

候補地を検討してきたこれまでの背景としては「花巻市立地適正化計画」、先ほど来申し上げておりますが平成 28 年 6 月です。都市機能誘導区域における事業として、まなび学園周辺への移転を検討しておりました。

次に「新花巻図書館整備基本構想」29 年 8 月には建設場所に関する方針として、都市機能誘導区域に整備を定めました。そして「花巻市図書館複合施設等整備方針検討業務報告書」平成 30 年 6 月ですが、これは独立行政法人都市再生機構に調査をお願いしたのですが、この調査においては、都市機能誘導区域内のある程度まとまった土地として、花巻駅東口周辺とまなび学園周辺を挙げて候補地として検討してきたという経緯がございます。

次に、新花巻図書館複合施設整備事業構想です。この構想は昨年 1 月 29 日に市議会にご説明し公表したのですが、花巻駅前の J R 東日本が所有する、スポーツ用品店の敷地ですが、この土地を 50 年借りて新しい図書館と複合施設を建設する構想です。図書館は市が所有しますが、賃貸住宅とテナントを含めた複合施設でして、賃貸住宅テナントは特定目的会社を設立し、それが所有する複合施設を整備してはどうかという構想でした。駅前の活性化、市街地定住人口増加にも資する事業として考えたのですが、この構想については事業の具体化のためには、外部の専門家をお願いして調査する必要があるとして、その段階で公表したのですが、反対の意見が多数あり調査のための予算は計上しておりませんので、具体的には何も決まっておりました。この賃貸住宅の併設については、市民の理解が得られないと考えておりまして、検討を進めるといことは考えていないという状況にあります。

次に、整備候補地の検討経過状況ですが、まず花巻駅東口周辺の J R 用地については、平成 30 年 12 月議会において、花巻駅東口周辺の J R 所有地を有力な候補地として、J R 東日本と具体的な条件について協議するという方針をお示ししました。翌年の 12 月には土地を賃貸借する方向で協力したいとのことから、賃貸借の条件を協議していることを市議会において答弁しており、その翌年、昨年ですが、1 月末には先ほどご説明した 50 年間の定期借地の方針を示したところでした。これについては反対意見がありまして、場所自体に反

対の意見、まなび学園等のほうが適しているのではないかという意見ですね。あと土地を賃貸借することに反対の意見。また、賃貸住宅との複合化に反対の意見がありました。

そこで、場所としてはＪＲ用地あるいはまなび学園、賃貸住宅等の複合化あるいは図書館単独、土地の定期賃貸借あるいは土地所有、が課題となる中、現状としては、令和２年１２月花巻市議会新花巻図書館整備特別委員会においての報告を踏まえ、図書館については、大規模な複合施設ではなくカフェを併設した単独の図書館とし、敷地については市が土地を所有する土地にするという方向で考えており、駅前については、ＪＲ東日本盛岡支社は協議に応じてくれるという意向を示していただいている、というような状況となっております。

一方でまなび学園の周辺については、ＵＲが行いました、先ほど申し上げました調査から、現況と課題として、まなび学園は耐震改修はされておりますが、老朽化が進んでおり、いずれ建て替えが発生すること。総合花巻病院跡地やまなび学園等含めた土地活用の在り方が検討必要なこと、総合花巻病院跡地には急傾斜地の崩壊区域が指定されているところがあり、高低差の改善や有効平場の確保など、造成計画の策定及び造成工事が必要になると、交通アクセスの確保、バスや歩道整備の課題があるのとらえております。そのような状況の中、次に具体的に検討してきた候補地を図面で説明をいたします。

まず、まなび学園の前でございます。現在のまなび学園の駐車場と芝生広場の場所に建設する図書館の場合をレイアウトしたものでございます。図書館はですね、仮にはありますが、延床面積を４,５００平方メートルとして、それを２階建てでつくるにはどうしたらいいかということで考えております。４,５００平方メートルの大きさは、以前に計画いたしました中央図書館の整備計画では、図書館の面積を４,３００から４,６００というふうに想定してありまして、その大きさと最近つくられました一関図書館の大きさを参考にいたしまして、仮に４,５００というふうに考えたものです。花巻駅からは７７０ｍ程で徒歩で１１分程ですね、２階建てでつくることは可能です。駐車場もこのような台数になっておりますが、今の旧総合花巻病院の場所を駐車場にするという計画でありまして、これですと開館の見込み時期は令和８年４月という計画が立てられるんじゃないかというものでございます。

ただ、次のこの図面です。現在のまなび学園がですね、今後２０年程度は使えるように改修をして使っているとところなんです、その後この建物は壊さなければいけません。解体した後における、この土地の利用をどのようにしていくかということも課題になろうかなというふうに考えております。

次はまなび学園の体育館を壊しまして、体育館の場所から旧営林署の場所、今駐車場になってるところですが、そこも含めてここに建設した場合はどうだろうかという配置です。ここにも２階建てで建設はできます。駐車場も少し、図書館近くには設置出来ますが、主な駐車場は、花巻病院跡地になろうかなというふうに考えております。駅からの距離、駐車場台数もそうですし、この場合も令和８年４月、開館できるのではないかという計画です。

ただし、まなび学園の体育館は利用率が９０％以上という高い状況でありまして、解体す

る場合に代替の施設が必要であろうというふうに考えております。

次がですね、総合花巻病院の跡地に建てた場合です。総合花巻病院の跡地に建てた場合も、北側の方を想定しています。南側には現在の建物の地下構造物がございまして、それを撤去すると、少しこう掘らなきゃいけないという土地になっておりまして、平らなところを確保するとなると北側になるというものです。駅まで13分程、駐車台数もこのようになっております。これですと少し造成等もありますので、令和9年にオープンできるかなと計算しているところです。

先ほども申し上げましたが、まなび学園に建設する場合に道路に課題があるというふうに考えておりまして、駅方法から徒歩や自転車での利用者も多くなるというふうに考えています。その安全確保の観点から、大通りから東側に向かう道路の歩道整備や拡幅が必要です。具体的には都市計画道路城内大通り線、黄色い線があります。これは万代橋から合同庁舎への直線の道路で計画上あるので、今まだない道路です。この道路は新しい橋梁の建設や交差点改良など整備が必要となりますが、この道路を建設した場合、現在使われているファミリーマートから幸橋までの道の北側の方との接続、交差点の関係とかですね、橋梁を新しくつくらなければいけないなど、事業費も膨大になりまして、現実的ではないということで、整備は難しいと考えます。従いまして、現在の市道城内大通り1丁目線、赤い線で書いております。その大通りのコンビニの交差点から、現在の幸橋を通過して合同庁舎に続く道路ですが、これに歩道を拡幅して整備するというのが現実的と考えておりまして、このような整備をして対応できないかというのを検討しておりますが、この現在の道路を拡幅して歩道をつける場合でも8年間程の期間がかかるというふうに考えておりまして、図書館の整備よりも遅れるかもしれないという状況にあります。

次は駅前の場合です。駅前はJRが所有する土地に建てた場合というものでございます。駅前ですと、ここも2階建てでつくりまして、芝生広場をつくって、ただ駐車場はですね、立体駐車場になるという計算のものでございます。こちら令和8年4月完成計画しております。ただ、こちらはJRとの用地の利用、売買または賃貸など合意する必要があります。なはんプラザ、ホテルとの機能連携なども必要と考えております。JR用地につくった場合の駐車場なんですが、立体駐車場は使いづらいのではないかっていうご意見をいただいております。立体駐車場も、例えばですが、我々今検討している中では、1階部分は通常柱と柱の間に3台駐車するところを、1階部分は2台の駐車スペースにして、高齢者障がい者、子ども連れの方向けとして、1階を幅が広い駐車スペースをとって行うとかですね、駐輪場も1階に設置するなどというのでも検討しているところです。

このほかにも、建設候補地として検討してきたものがありますが、営林署跡地、まなび学園の敷地に隣接する営林署跡地、今駐車場になっているところです、体育館を壊さずにその場所で出来ないか検討してきましたが、スペースが不足しているというふうに考えておりますし、花巻駅南駐車場、なはんプラザの東側の現在の駐車場にも建設出来ないか検討してきたところですが、現在60台の駐車スペースがございまして、駅やホテルに1番近い駐車

場になってまして、それを無くするのは出来ないというふうを考えておりますし、仮に1階を駐車場にして、2階以上を図書館にする構造はどうかというのも検討したんですが、駐車スペースとして30台ほどしかとれないということと、乳幼児連れあるいは高齢者等を考えたとき、できるだけ1階から図書館にしたい、1階にも図書を置いた図書館にしたいという考えがございますので、ここも難しいというふうに考えたものでございます。

次図書館のランニングコストについても現在検討しております。今の花巻図書館の令和2年の予算で見ますと、8,300万ほどかかってます。年間です。新しい図書館の運営費を試算しておりますが、一関の図書館などを参考にしながら計算いたしますと、年間2億弱かかる見込みとなっております。

次にワークショップの概要についてです。図書館ワークショップを7月から10月にかけて開催いたしました。そもそもシンポジウム、ワークショップ等を開催したいということで、令和2年3月議会でお話ししておったところですが、コロナウイルスの影響でシンポジウムの開催は難しいということで断念しておりまして、ワークショップの開催も延期する中、7月から10月に開催したということでございます。高校生・20代のワークショップといたしまして、7月25日と8月8日に開催しました。富士大学の早川光彦教授をアドバイザーとしてお願いいたしまして、講演をいただく中で、また、グループワークをして、各班ごとにアイデアを出してもらったということになります。発表されたアイデア、本資料につきましては、最新研究論文、大学のパンフレット、就活資料、本以外も、というような若者らしい意見が出されたというふうに考えてます。サービスについては、Wi-Fiの管理、電子書籍、話しやすい司書。環境空間については、1人でいる空間と、たくさんの人がいることができる空間、飲食可能な空間、子供とのびのびできる。場所については、駅近く、駐輪場、電車、自転車、バスのアクセス等の意見が出されたところです。

次に、一般編といたしまして、8月23日から10月25日まで開催いたしまして、一般公募の皆さん12名と、各関係団体から10名の方、そして高校生・20代18名は第3回目から参加していただいたというようなワークショップを行いまして、こちらでもグループをして皆さんが求める図書館について、検討してもらったということでございます。このワークショップの中でですね、4回目、新花巻図書館整備基本構想、29年に定めました基本構想に基づきまして、項目ごとにアイデアを分類してもらっております。その一つ例として、蔵書資料に関することとしては、実用書、ライトノベル、雑誌等、世代ニーズに合う図書、利用者選書本を紹介できるとか、観光産業歴史等市の情報、旅行者もワンストップで偉人を見ることができる、ゲームとか漫画とかの資料、読み上げ拡大機能、というような意見がありました。

施設に関することの例としては、Wi-Fi、カフェのスペースが欲しい。高齢者、身障者対応、緑を感じる、ロボットタブレット等の最新技術を使う、SLが見えるスポット、賢治作品をモチーフに花巻らしさのある、というような意見があったところです。

ワークショップの5回ではですね、新花巻図書館の立地場所、建設場所について、これま

での、検討してきたサービスを実現可能な場所はどこか、ということでまなび学園周辺、駅周辺、その他、メリット・デメリットを検討していただいたものでして、まなび学園周辺では、花巻小学校花巻城が近い、まなび学園・こどもセンターとの連携、緑が多く自然を感じられる、静かで過ごしやすい。デメリットとしては周辺が暗く夜間が心配、道路が狭く入り組んでいる。バス利用が難しい。

花巻駅東口周辺では、メリットとして、若い人の行動範囲、SL 銀河が見られる、夜も駅周辺が明るい、観光客・車のない人も利用可能。デメリットとしては、立体駐車場が狭い、まなびと比較して周辺に緑が少ない、駐車場と図書館が離れているなどの意見がありました。

まなび学園周辺、駅周辺以外の提案では、イトーヨーカ堂東側の空き店舗、駅西口方面、材木町公園、北東金属グラウンド、東公園新興製作所跡地、花巻市交流会館などの場所についての意見もあったところです。

5 回目が終わってからアンケートをとりました。第 5 回には 32 名の方参加しておいででしたが、28 名の方から回答をいただいております。回答者の年齢ですが、30 代が若干少ないですが、おおむね各年代の方がそろっているということが言えます。居住地区は花巻地区が多くなっているということです。図書館の建設場所はどこが望ましいか、お聞かせください。一つだけ選択ということでお尋ねしたところ、まなび学園周辺では、まなび学園体育館の場所が 6 人、まなび学園前が 2 人、花巻営林署跡地が 1 人、総合花巻病院跡地が 1 人ということでありまして、全部で 10 人の方がまなび学園周辺を選んでいきます。花巻駅周辺地域では、J R 用地が 11 人、なはんプラザ隣の駐車場が 3 人ということであり、合計 14 人の方が駅周辺を選んでおり、その他が 4 人ということでありました。

なお、市では J R 花巻駅に近接して複合施設を構想として出しておりましたので、特に J R 花巻駅のスポーツ用品店敷地に絞った質問もしたところです。このスポーツ用品店敷地について、市民から反対意見が出ているということをご説明しつつ、花巻駅周辺のスポーツ用品店敷地についてご意見をお聞かせくださいという質問をしております。その回答といたしましては、J R 用地はそもそも反対という方が 5 人、J R 用地は 50 年の定期賃貸借でも賛成という人が 12 人、J R 用地は良いが定期賃貸借に反対という人が 10 人で、この 10 人の方の内訳は、市が土地を所有するのであれば良いが 6 人、わからないが 2 人、その他・無回答が 1 人ずつということでありました。図書館の施設形態をお尋ねしたところ、複合図書館が良いというのが 18 名、単独図書館が良いが 9 人、その他が 1 人、複合図書館が良いとした場合必要な施設については、複数回答可能でしたが、カフェが 15 人で圧倒的に多い答えてありまして、市が複合施設構想として示しておりました賃貸住宅の建設、という案につきましては、今回のアンケートでは 1 人もいらっしゃらなかったということでございます。

ワークショップは市民の皆様新しい図書館にいろいろな観点からご検討いただく機会となり有益なご意見をいただく機会となりました。市といたしましては、今後今回いただいた

たご意見を参考にしながら、図書館整備基本計画の試案の作成に努めてまいりたいと考えております。ただ今回のワークショップの結果のみに基づいて、直ちに場所や複合施設の形態について決めるということではなくて、今回の基本計画試案の作成に当たりまして市民との意見交換が必要だというふうに考えておりまして、冒頭申し上げましたとおり 11 月末から意見交換を開催する予定でありましたが、コロナウイルス感染症の影響でこのようになっておりまして、リモートということで皆様方からご意見をいただきたいというふうに考えているものです。今の段階でこの感染状況もどうなるか、いろいろ注視する必要があると思っておりますが、なかなか多人数で意見交換を一堂に集まって意見交換出来ないという状況になっておりますので、このような形をとらせていただきました。そのほかに各種団体からの要望などがある時はご説明に上がっておりますし、その他にもこちらからも開催をしていきたいと考えておりまして、建設候補地も含めて市民とのコンセンサスを得ていきたいというふうに思っております。その上で基本計画の試案ができ上がれば、今年 3 月 4 月に市民参画の手続に入る計画でありましたが、既に数か月遅れておりまして、これが十分なコンセンサスが得られないということであれば、3 月 4 月にこだわることなく、十分に皆さんから意見を聞いて検討していく必要があると考えているところです。以上で説明を終わります。

(○生涯学習課 菊池)

それでは、ここからの時間は、意見交換ということで進めさせていただきたいと思います。最初に、事前に本日もご質問をいただいております。本日もご参加いただいております方から質問が二つ、それから提案もいただいておりますので、提案のほうもご紹介したいと思います。こちらのほうで質問を読み上げまして、それに対して、まず、回答するってことを行いたいと思います。その後に、皆さんで自由に意見交換していきたいと思います。まずはいただきました質問を読み上げます。まず一つ目です。新図書館（周辺環境を含む）の、都市景観や街並みとしても、地域デザインという観点から、緑化についての方針をお聞かせください。二つ目です。現有図書館の新図書館への引継ぎなどの取扱いについて、また、献本や図書寄贈に対する考え方をお聞かせください。これが二つ目のご質問であります。提案についても、ご紹介いたします。提案は一ついただいております。新図書館への関心を高める取組の一つとして、建設予定候補地である花巻駅周辺部と、生涯学園都市会館一帯のロケハン（街歩き）をしてみたいかでしょうか。という提案をいただいております。ありがとうございます。はじめに、質問のほうの回答をしたいと思います。補足事項等ありましたら、マイクをオンにしてお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

※質問された参加者の表記について、今回の意見交換会に複数回ご参加いただいている方もいるため、第 1 回～第 3 回の参加者を共通の番号で表しておりますので、ご了承ください。

(○参加者 2)

特に補足はありません。回答をしてください。

(○生涯学習部長)

それでは、一つ目の緑化の方針ということですが、緑が欲しいというような意見をワークショップ等でもいただいております、今回の図書館に関して具体的にもうどのように緑化していくかっていうのを決めているものではありませんが、先ほど少しお示したように、駅前であれば、今の多目的広場を公園のようにするのはどうかというのは考えておりますし、まなび学園周辺であれば、場所によって、ある程度、公園とか芝生化とかというの必要ではないかというふうに考えております。一方では建物の緑化、建物自体に、極端に言えば屋上に庭園があるとか、テラス席で読書ができるようにというような意見もありましたので、その辺りも含めて、ある程度の緑化というのは検討し、その計画の中で示したいというふうに考えています。

次に、現有図書の引継ぎということですが、私が考える引継ぎのイメージでは、現在の花巻図書館の図書を、引き継いでいくわけですが、それ以外に新しい図書も買って備えていきたいと考えておりますし、今の花巻図書館以外の三つの地域館、東和・大迫・石鳥谷にあるわけですが、そちらの収蔵の部分も考えながら、ある程度は中央図書館に少し集めながら、地域館の収蔵庫も余裕を持たせたいと考えています。献本とか寄贈というのは、どのあたりについてお話すればいいかとは思いますが、例えば今、献本を図書館のほうにしても、図書寄贈された中で必要なものは収蔵する、ということをしているところもあります。そして、ちょっと使えないようなものは、ボランティアの皆さんにお願いして、古本市とかをやってもらったりしているところもあります。今後、例えば、本を売っていけるのであればいいんですけども、高齢化により、せっかく立派な本があってもこれを捨ててしまわなければならないというような課題が出てくるんじゃないかと私個人的には考えてまして、それらの本を本屋さんに売る以外に、図書館に寄贈するという方法もあるんじゃないかなと思ってました。ただし、それが何もかにも寄贈されても活用出来ないということもありますので、そういうところを、こちらに任せてもらってやるとか、あるいは業者を通してやるとか、そういう先進事例はあると思うので、その辺りも検討してかなきゃいけないかなと考えていました。

(○参加者 2)

はい。緑化についてはですね、図書館に限らず、公共施設に一定割合のですね、緑化率のようなものを課している、所沢市とか取組があるんですけども、花巻市って意外とそういうところの考え方がですね、まだ示されてないっていう状態なので、今回の図書館を契機にですねやっぱ話広がっちゃってなんですけれども、やはり一定割合の緑化っていうことを考えているようにですねって欲しいなということで今質問をしました。その、民間の商業

施設ですけれども、東京ですね、渋谷の宮下公園なんかも、館内っていうか施設内の至るところにですね、緑を工夫して配置していて、非常に参考になるなと思って見てきましたけれども、そういうこともですね、お考えいただければ、いいなと思っています。図書の寄贈に関してはですね、ありがたいけど迷惑だっていう声もあるやに聞いておりますので、図書館についての関心を高める取組の中にそういう図書寄贈という部分を考えることが出来ないのかなと思ってお尋ねをしました。ありがとうございました。

(○生涯学習部長)

はい、ありがとうございます。市全体としての緑化となるとまた話は大きくなりますので、それについてはちょっとなかなか私もお話が出来ないんですけども、ご意見としてお聞きいたします。あと、図書館に関心を高めるために何かこう、寄贈あるいは東和でやってる古本市なんかも少しPRするとか、いろんな、図書館と連携して考えたいというふうに思います。ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

それでは、ここからの時間は皆さんで自由に手を挙げていただいて、意見交換させていただきたいと思います。早速ですけども手が挙がっておりましたので、マイクをオンにして、お願いいたします。

(○参加者 9)

まず質問と提案があるんですが、ちょっと提案は長くなるので取りあえずまず質問のほうをお願いしたいと思うんですけども、もしもし聞こえてます。

(○生涯学習課 菊池)

はい、大丈夫です。

(○参加者 9)

先ほど、かなり時間とって丁寧に説明していただいたんですが、残念ながら私が知りたいことは何ひとつないし、私に関心を持っていることが全く、どこをとってもそんなことはどうでもいいと私は思ってるんですね。意見交換会だからこういうことを勝手に、言うのもありかなと思って一応、一つだけ、そういうときに、私が知りたいことは、どういう方がその図書の選定をするのか、その選定に誰が選ぶのか、それはどういうふうにして確認できるのか、そういうことをちょっとお聞きしたい。そのシステムですね。それを具体的にお聞かせください。

(○生涯学習部長)

基準がどうかですね。

今、図書館で本を選定しているのは、図書館の司書が選定しているのですが、その基準というのが、文書で決めたものがあります。分野ごとに書いてあるんですけども。

(○参加者 9)

そうすると何名いらっしゃるんですか。

(○生涯学習部長)

図書館の司書ですか。

(○参加者 9)

選定をする、担当の方何名で選んでるのかっていうのを聞きたいんですが。どういうバックグラウンドによってどういう知識のある方を選んでいるのかという具体的に教えていただきたいんです。

(○生涯学習部長)

どういう。

(○参加者 9)

図書館の1番大事なところだと思うんですよね選定委員。ハードはどうでもよくて、中身だと思うんです私。今答えられないようであれば後で、追って選定委員の名前と、バックグラウンドを教えてくださいと思います。

(○生涯学習部長)

図書館は、図書館の司書は全部で14人おります。

(○参加者 9)

どのようなシステムでどういう段取りで、本が選ばれていくのかということ具体的を知りたいということですね。はい。それこそが1番、本、図書館にとって大事なことです。うん。はい。終わります。

(○生涯学習部長)

私に分かる範囲では、基準を定めまして司書の人たちが相談して決めてるというふうに思っております。

(○参加者 9)

そのほか、名前とかバックグラウンドに関しては非公表なんでしょうか。担当バックグラウンドといたしますのは、委員の方がどういうつまりどういうご経験、お方が、どういうそういう基準といたしますか、いわゆる AI が決めるわけではないと思うので、人間の裁量も入りますよね当然そういう意味で言ってます。

(○生涯学習部長)

司書のバックグラウンドまでは私も把握してませんが、司書として係長とかそういう職の人たち、あるいは図書館の館長とかが決めているっていうふうに思っておりますし、その基準の文言で、定めたものはあるんですけども、新しい図書館をつくるに当たって、その見直しもしようというふうにも考えています。

(○参加者 9)

むしろそういう議論が大事だと思うんですね、どこ喫茶店があろうがなかろうが、緑があろうがなかろうが、どうでもいいっちゃあれですけど。

あともう 1 点だけ質問させていただいています。あと、提案に関してはちょっと長くなると思うんで様子を見て後でもし時間があれば提案します。2 番目の質問ですけれども、具体的に二つの質問なんですけど、まず第 1 は、私は昔東和町、昔って花巻市ではなかったんですね、和賀郡東和町というところがあって、そこで生まれて東京に行って。去年の夏に帰ってきた 61 の者なんですけど、行ったときにはなくて、来たら非常にすごくハードウェアとしては立派な図書館が出来ていたんですけど、そこに東和図書館っていうんですか、行って見て、今非常に驚いてるわけですね。質問がまず一つありますんで第 1 番はこれはそれが生涯学習課の方でいいんですけども、質問です。第 1 問は、そこにまず今そこに約 7 万冊だったかな、蔵書があるんですね。いいですか。そのなかで、数学の本の何冊あると思いますか。質問です。当てずっぽうでもいいので答えていただけますか。

(○生涯学習部長)

数学ですか。

(○参加者 9)

数学です。ざっとでいいですよ 7 万冊ある図書がありましたと。数学の本何冊置いていますかっていう質問です。東和図書館で。もう簡単に答えてください。

(○生涯学習部長)

多分質問されるということは少ないということだと思いますが。

(○参加者 9)

もう当たっても景品は出ませんが、答えていただけますか。

(○生涯学習部長)

1,000 とかですか。

(○参加者 9)

1000 ですか。正解を言いますよ。驚かないでくださいね。42 冊です。

その中は、いかにもこれは数学が大嫌いな人が選んだなっていうようなことを感じられる本が、42 冊のさらに内部に対して批判はここでやめますが、第 2 問に行きますね。第 2 問。東和図書館に 7 万冊の本があります。この中でコンピューターサイエンスの本は何冊あると思いますか。簡単に答えてください。今プログラミング教育とかっていうのが流行ってますけど、コンピューターサイエンス、いわゆる、自然科学における数学と同じところに位置してるわけですね。

(○生涯学習部長)

じゃあ 100 とかにしますか。

(○参加者 9)

100 ですか。正解を言います。0 冊です。0 です。1 冊ありません。これらの現状ですねだからですね、ここの図書館は理系の人は立入り禁止っていうならそれでもいいんですが、余りにもその選定に対して偏りがあるんじゃないかというのが一つの意見っていうのは今のところの衝撃を受けたってことですね。あとは一応質問これで終わりますあともし時間があれば提案をします。ちょっと失礼します。長くなって。

(○生涯学習課 菊池)

時間があれば後ほどお願いいたします。そうしましたら、その次のご質問ある方、手挙げボタンを押してご参加をお願いいたします。順番に行きたいと思います。手が挙がっておりますので、マイクをオンにしてご質問をお願いいたします。

(○参加者 10)

質問ではなく意見なんですけど、これは後のほうが良いでしょうか。いいですか。

(○生涯学習部長)

いいです。

(○参加者 10)

それでは意見を述べたいと思います。まずもって建設用地について、詳細なご準備をしていただいた生涯学習課の皆様の努力に対しまして、感謝と敬意を申し上げたいと思います。ご苦労さまでございました。私たち新花巻図書館を考える会は建設場所として花巻病院跡地が、最適であると考えております。以下その理由、関連意見を3点にわたって述べたいと思います。最初に、駅前の建設用地についてでございますけれども、アクセスの利便性ではすぐれているという市当局の説明は、電車やバスを利用できる方々や、駅前に近い方々にとってはそのとおりだというふうに思います。しかし私たちは、市の単独施設とまなび学園周辺への建設を求めて、署名運動に取り組んでまいりました。そして過日、2,100名余の署名を市長さんに提出したところでございます。その運動の中で、最も多く出された市民の疑問は、まなび学園周辺に市有地がありながら、なぜ税金を投入してまで、駅前なのかと。いうものでございました。市当局の当初の説明では、JRからの借地料は月60万円。50年間借りますと、3億6,000万円でございます。これは1世帯当たり約9,500円の負担となりますし、その後、市当局は、借地料の引下げや、あるいは土地の、買取りの可能性に、言及しておりますけれども、税金を投入しなければならないと、こういうことについては変わりありません。果たしてこの負担が市民全体の理解を得るというのは、できるかということでございます。私が住んでる花南地区から見れば、駅人もまなび学園も、距離的にはほとんど、変わりません。周辺部の方々にとってはどこでも同様だと思います。ましてや旧3町の方々にとっては、その負担は、理解しにくいのではないのでしょうか。負担はもともと市有地に建設すればまったく必要のないものでございます。ですから結局これは駅前活性化対策、すなわちコンパクトシティー構想実現のための負担にほかならないかなというふうに私は思います。私は駅前活性化の必要性を否定するものではありませんけれども、図書館建設とは切り離して検討していただきたいということでございます。もう一点、これは私も最も重要な観点だと考えていることなんですけれども、これは新図書館建設をどのような理念で進めるかということでございます。で、図書館は単なる本の入れ物ではありません。北上市や一関の図書館を見ますと、どのような理念で建設されたかが分かるような気がします。当市では、どのような理念に基づいて、新図書館を建設しようとするのでしょうか。理念なんですけれども、私は、平成29年、2017年に策定された、基本構想に示されているというふうに私は思います。そこの基本というところでございますけれども、ここの基本方針というところでございますけれども、この中でもって大切なテーマ、宮沢賢治や、あるいは萬鉄五郎ら先人の育んできた学びの精神を受け継ぎ、次世代を担う子供らの豊かな心を育てる施設を建設すると。私はこれを最も重要な理念ではないのかなというふうに受け止めております。さらに、その次の項目の中では、幼児、子供、高齢者、あるいは障がい者なども利用しやすく、自然や周辺に調和した施設とすると、こういうことも述べております。私は、駅前の環境ではこの理念を実現するのは難しいのではないかというふうに思ってるんですが、市当局はどのようにお考えか、お伺いしたいと、そういうふうに思います。以上、施設の利便性、それ

から、市民の税負担、それから建設理念、以上3点について述べましたけれども、総合的に
お考えの上、進めてくださるよう、期待して終わりたいと思います。どうも長い時間ありが
とうございました。

(○生涯学習部長)

はい。ご意見ということでありましたけれども、こちらから少しお話しできることをご説明
したいと思います。大きく2つだったかと思います。駅前について、市有地、まなびのよう
な市有地があるけども、なぜ土地を買ってまで、あるいは借りてまで駅前のほうを検討する
のかということだと思うのですが、市街地の活性化と新図書館は別に考えてほしい、図書館
はまちづくりと別に考えてというお話でしたが、図書館もやはり数十億の規模でつくりま
して、市民が使いやすい、使われる図書館にしたいと考えております。最初の課題でお話し
しましたが、現在の図書館ですと、閲覧室が小さいとか、2階にあるとかという課題もある
んですが、場所的に、やはり駅から離れていて、行くとしても車で行くか、近くの人しか行
けないというのが課題です。年齢層も50代以上が多いというところから見ても、課題とい
うふうにとらえております。そういう中で、やはり、数十億の図書館をつくるわけですから、
まちづくりに影響がないわけではなくて、まちづくりにも資するものをつくるべきだとい
う考えですので、そういう意味から場所を考えてますし、立地適正化計画の都市機能誘導区
域内につくりたいというものも示しているものです。

どのような理念で進めてるかという中で、そのとおり基本構想で示しました。理念ですね、
宮沢賢治や萬鉄五郎をはじめとした云々という部分です。花巻には歴史的に学びの風土が
あり、その精神は次の世代に受け継いでいくべきだということ、大切だというのは、私も
そう思います。図書館は、次世代を担う子供の読書活動を支援し、豊かな心を育てる施設と
して、それは若者、これから私たち、私たちも含めますけども、高齢者もそうですが、若い
人たちに使ってもらえる図書館、そして、情報、それらの情報を地域や産業の創造に結びつ
ける施設、さらには、このまちや市民に活力と未来をもたらす図書館だというふうなことを
理念に掲げておりまして、そのためにも、皆さんが、使える図書館で、そして、若い人たち
も使えるものとして考えた場合に、駅前にあったほうがいいんじゃないかというような意
見もあるということをご理解いただきたいと思いますし、その中で、やはり、今ある土地だ
けで検討するのではなくて、購入あるいは借りるなり、まちづくりのために、将来のため
には、花巻市としてここにあるべきではないかということ、含めまして、我々が検討した中で、
駅の東口周辺、あるいはまなび学園の周辺がいいのではないかというふうにしているもの
ですので、そこはご理解をいただきながら、皆さんのご意見を聞きたいと思っておりますの
で、よろしくお願いいたします。

(○生涯学習課 菊池)

ご質問、ご意見いただきたいと思います。続きまして、手が挙がっておりましたけれども、

ご質問、ご意見よろしいですか。

(○参加者1)

先日、お世話になりました。としょかんワークショップでもお世話になりました。質問というか、ちょっと意見なんですけど、今日説明していただいたんですがいろんな場所、候補ですね、それと同時にですね、建設スケジュール、日程表というのはあんまり出なかったと思うんで、今後の日程ですね、指し示していただきたいなと思って。としょかんワークショップのときに示していただいた資料では、今年の8月ごろに建設地を検討して、計画策定するって書いてあって、竣工はですね令和8年度から場所で10年度ぐらいという、ばらつきあるんですけどそういうのを指し示していただいたんですが、具体、この次でもこの具体的な、具体的というか、案でもいいので日程を指し示していただきたいというのと、あと、としょかんワークショップとか、ずっと私だけちょっと違和感感じたのがありまして、例えば、私は建設会社でも勤めたことあるんですけど、普通こういうのをつくればよくある場合は、市役所のほうで、例えば、建設準備委員会とか、建設検討委員会とかいう、名前はあるんですけど、建設準備室というのをつくって、こちらのほうにメンバーとしては例えば、議員さんとか副市長とか、図書館の関係者とか、建設部門の方が準備室をつくって、そこで準備検討して、それこそワークショップを運営したりとか、意見を聞くという順番がちょっとそういうのでやったと思うんですよ。市のほうでどなたが取りまとめているのかということが、具体的にちょっとわかんないですね、1年前のは、私たちはもう市長単独の案が出たという認識なんで、市のどの部署、どの方が決定して、検討して最後まで、準備建設して、設計事務所と交渉したりするというのをちょっとはつきり教えていただきたいというのもあります。なければつくったりしてほしいし、これが生涯学習部なのかどうかもちょっとはつきりわからないのでそれをはつきり指示してほしいというのがあります。以上です。

(○生涯学習部長)

はい。それではスケジュールについて。まず、ワークショップでは各候補地ごとに、スケジュールの段階での案もお示しました。確かに。今回はなかなか細かい部分が多いので、そこを省略してんですが、例としてひとつお示しいたします。まなび学園の前ですと、先ほどお話ししたとおり、8年の、4月にはオープンできるのではないかとというふうに計算しているとお話ししました。それで、多少のずれはありますけども、令和3年度の7月とか8月とか、その建設場所を決定できるとすれば、そこで、基本計画も出来た場合を想定すればですね、そこから測量とか調査に入りまして、土地、用地等の契約等もあります。あと、補助金の申請などもあって、実施設計に入って、具体的な設計に入って建設して、オープンが8年の4月を見込むというものでございます。あと、もう一つ何でしたっけ。建設準備室とかをつくるべきではないかということですよね。今、我々生涯学習課が、事務を執ってますけども、図書館を整備するためのプロジェクトチームというのをつくっています。その中に

は建設部も入っていますし、図書館も入っています。そういうメンバーを入れて、プロジェクトチームという形でやっています。ただ、今後これが、具体的な計画を、今作っているものがもう出来たら、また違う部署になるかもしれません。発注をしていくようなときは、組織はどうなっていくかというのはまだ決めておりませんが、現段階は新図書館整備プロジェクトチームという形で、生涯学習部、建設部を主として、図書館、建築の技師とかも入れながら検討しているという状況です。

(○参加者 1)

はい。わかりました。ただ、二つ目のプロジェクトチームに関しては、我々ワークショップの人たちも全部聞いたことのない話だったので、それが 1 番大事じゃないかなと思うんでそれをきちんと情報公開したりとか、中身の例えばお名前を例えばどういう関係者がいるとか、建設部門の人がいるとか、有識者とか図書館建築関係、研究者がいるとかそういうのをきちんと情報開示して、我々の意見がそこをきちんと一筋で通るというのを指し示していただきたいなと思います。

(○生涯学習課 菊池)

続きましては、順番に行きます。マイクをオンにして、ご質問、お願いいたします。

(○参加者 6)

はい、聞こえますでしょうか。大丈夫ですか、あの、前回もこの交換会に参加して、そのときの参加者が 11 名ということで、ちょっと驚きました。もっとたくさんの方が参加してくればいいなっていうふうなことを感じていたので、今回も、同じように 11 名っていうことで、ちょっと前回と変わらない数に、また衝撃を受けているものなんですけれども、ええと、どのように、みんなの関心の裾野を広げていったらいいのかなっていうことを考えたときに、若い人、特に 10 代 20 代 30 代の人たちの意見がなかなか聞かれないっていうことが先ほどの説明の中でも、数字として示されてましたので、そこにどのようにアプローチしていくのかなっていうところを市としては考えられていることもあるのか、ということをお聞きしたいですし、例えば、子育て世代が集う場としてのこどもセンターなり、それからやっぱ保健センターなり、市の機関と連携することっていうことは、考えられないのかなっていうことを、思ったりします。決まったメンバーのというのかな、その意見もすごく大事だと思いますけれども、皆さんはどういう図書館を欲していて、そして、どういう声を持っているかっていうことについて、もっともっと広く聞く場っていうものが欲しい気がして、そのことをお聞きしたいですし、そういう市の機関の活用とか、考えられないかなっていう意見を述べたいです。前回、図書館にアンケートを置いて、尋ねた人たちの声を集約したものをを見せていただいたので、何かそういったこの丁寧な作業っていうのが必要になってくるのかなっていうふうにも思っています。以上です。

(○生涯学習部長)

はい。前回の木曜日で金・土・日っていうまだ2日、中2日という状況でしたのでなかなか増えない。ただ、新聞社では岩手日報、岩手日日で新聞に取り上げてもらえたので、参加していただく方は増えるかなという期待もしていたのですが、なかなか難しい状況なので、前回もお話ししたのですが、取りあえずこういう形でやってみましたが、また少し検討しなければいけないかなと思ってますし、先ほど、お話のあった、図書館でアンケートをとるのは、図書館に関心のある人なのでいいんですけども、それ以外の例えば今おっしゃったこどもセンターとか保健センター、そういう人たちに、図書館について聞いてみるとかです、いろんなことをできるかなというアイデアをいただいたので、検討させてほしいと思います。ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございます。

(○参加者6)

はい。新聞に取り上げられているのも、本当に見ましたし、ですから、どんどんどんどんこれを契機に、皆さん、またこの場にと、それ以外の自分が参加しやすいところに参加して意見を述べてくれること等が増えればいいなと思います。はい、ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございます。次に手が挙がってますので、マイクをオンにして、お願いいたします。

(○参加者7)

はい。どうもこんにちは。最初に確認したいんですけども、私の発言の内容が、どなたが聞いていらっしゃるかということで変わってきます。左にいらっしゃるのは遠藤さんですか。

(○生涯学習部長)

遠藤部長はおります。

(○参加者7)

その向こうは佐々木さんいらっしゃいます。

(○生涯学習部長)

こっちにおります。

(○参加者 7)

あ、そうですか。発表者の中にリストとして上がってませんので、ご発言がなさらないということなんでしょうかね今日は、

(○生涯学習部長)

いやいや、そんなことはないので何かありましたら。

(○参加者 7)

ああそうですか。ごめんなさい。あともう一つ確認ですけども、ワークショップのときに、他人の発言を否定しないというルールが、ありましたが、今日もそのルールは適用されますか。

(○生涯学習部長)

はい。

(○参加者 7)

大変恐縮なんですけども、私が発言するとどうしても行政批判の部分というのを含みますので、そうするとお立場上ね、やはり、私の発言を否定せざるを得なくなると思うんですよ。

(○生涯学習部長)

はい。

(○参加者 7)

うん。だから、思ったらね、ご指摘は当たらないとか、そういう返答でも構いませんので。

(○生涯学習部長)

はい。

(○参加者 7)

先ほど大変重要なお発言がありまして、このご意見をどれだけ真摯に受け止めるかというのは非常に重要なことだと思ってるんです。私、ただの一般市民でして、一般市民にとって市役所ってのはブラックボックスなんですね。誰がどう意思決定をしてるのかわからないというご意見もさっきありましたけれども、ちょっと覗いてみると大体、こういうことな

のかつてのは見えてくるんですが、要するにトップなんです。トップの意向が、全てに影響してくるという、いろんな会議とか説明会とか、に参加させていただいてますと、要するに、上田さんが、人を信用しないと、そういう印象を受けております。その人って、人で成り立っているのが市役所なんですけれども、例えば去年の8月30日に、駅の橋上化についての説明会がありまして、遠藤部長さんとお話しさせていただいたんですけれども、そのときに、新花巻図書館周辺整備室ですか、といったものがもう既に存在意義がないので、これ廃止したらどうかという話をしたんですね。で、その周辺整備室ですか、建設部の下部組織であるので、これは遠藤さんの一存で廃止できるはずだと。思ったんですが、それは遠藤さんに権限が与えられていないと。結局、これは、上田さんが決めることだというわけで本来であれば部長レベルに与えられるべき権限というのが、与えられていないと。それはひいて言えば、花巻市民も信用されていない。そういう方を市民はどうやって信用したらいいのかってということなんです。例えばね、今日前半のご説明の中で、場所の話、ほとんど、それに終始してるわけですよ。役所の中で図書館を議論するっていうことで1番大事なことで1番時間割かなきゃいけないのが、先ほどおっしゃったような内容であるべきなんです。ところがそういう発想を上田さんがないわけですね。図書館に関して見識がないっていうのは、これは火を見るよりも明らかなことで、彼は議会の発言で何言ってるかという、図書館にはカフェは絶対必要だと思います。そんなレベルの話しか出来ない人なんです。ですから部下がどれだけ優秀でも、いい図書館は出来ません。ですから誠実な、行政官ほど、市民に寄り添ってる行政官ほど、お立場苦しいと思いますよ。今日の最初の話の中でまなび学園周辺はいろいろ道路を直さなきゃいけない。じゃあ、駅前の道路も、見直すべきところってのは、多々あるとは思われるんですけれども、この情報というのは意図的にね、まなび周辺にはしたくないという上田さんの意向があるから強引でも駅周辺に図書館をつくりたい。そういうふうに市民を誘導したいわけなんです。ですからまなび学園周辺に都合の悪い情報だけ、建設部に命じて、上田さんこんなこと言ってましたね。遠藤部長は、道路の優秀な専門家です。その本心はっていうと、自分にとって都合のいい情報だけ出してくるには、便利な人だっていうことなんです。遠藤さんね、遠藤さんにとってとっても失礼な話なんです。そういうことをするために、遠藤さんは花巻に来たわけじゃないでしょう。その後、橋上化の説明会のときにいろいろ遠藤さんを追及したように、はたからは見えるかもしれませんが、結局ねその場に上田さんがいないから、遠藤さんにいろいろ聞かざるを得なかったってことでね。だからここで、部長以下皆さんいらっしゃいますけれども、副市長さんもいませんよねここに、全て出てきて話しすべきじゃないですかね。前にね、上田さんに直接話したことあるんですよ。図書館の話全然進んでませんねと。もちろんご丁寧に反論はしていただきますよ。丁寧に丁寧に長々と。でも、図書館の中身の話っていうのはついぞ聞かれずじまいでした。これじゃねえ、本当に駄目です。こういう言葉があるの知ってますか。花巻は、文化の陥没地帯だっていうんです。私は花巻生まれ花巻育ちですけどもね。そういう言葉聞いてねえ。涙が出ますよ。悔しいですよ。でもね、それ、真実を含んでますか

ら、反論が出来ない。町の活性化、これはね、重要な課題ではありますけれども、市民の中身を活性化じゃないですか。何十年もあるいは100年単位で考えた場合、市民の考えがしっかりしてないとね。結果的に町は活性化していきません。具体的な私の提案としては、図書館の問題は、立地適正化計画から除外すると。そして、今まで行ってきた、計画までいってませんけども、そういったものは白紙に戻す、図書館本体に関すること、内容に関することについての議論をしないうちは、ただ建物だけ造ったって、ろくなもの出来ませんから。大変な危機感を私は持ってます。花巻市の将来に対して、ということでご指摘は当たらないとおっしゃっていただければ、これで終わりにしたいと思います。

(○生涯学習部長)

はい。ありがとうございました。ご意見いただいたところでまず一つ言えるのはどうしても駅周辺につくりたい、というふうにしていることはありません。私自身そう思っています。駅もあるし、まなび周辺もある。まなび周辺ですと、こういう課題もある。駅でも課題はあるわけです。その土地をどうするかということです。でも、いろんな観点から、こういう候補地を検討した結果、この場所はどうかと投げかけているという状況です。皆さんからご意見を聞きたいって言っているものです。あと、図書館の中身について、中身というか理念、今、基本構想を定めました。それで理念、はっきり言って、どう捉えてもいいような全体的な理念というに変ですが、その中で、ある程度花巻の特色は載せた理念だと思っています。具体的な部分は進んでないんじゃないかというご指摘もそのとおりだと思います。蔵書をどうするかとかですね。そこも今、実は少し検討してまして、先ほどお話ししました、どういう蔵書にしていくかっていうのを今決めているその基準があるんですけども、これを見直ししなければいけないんじゃないか、というふうに考えています。これも最近のことなので、ちょっとこれからになります。私も図書館は、これからの未来を左右する図書館だと思っています。そういうふうになりたいと思ってますんで、皆さんからのご意見を聞きたいと考えています。できる限りできることはやっていきたいというふうに思っておりますので、ご理解とご協力のほどお願いしたいというふうに考えております。以上です。

(○参加者7)

どうもありがとうございます。市川さんのお立場は重々理解しておりますし、個人的にもお話をさせていただいて、どのようなお考えをお持ちかっていうのもね、わかってますけれども、ただこれが、組織の中に入るとね、それはトップの意向が反映しますから、だから、どうにもならないっていうとこなんですよね。このぐらいにしておきます。どうもありがとうございます。

(○生涯学習部長)

はい、ありがとうございます。いろいろ検討しておりますし、市民の皆さんからの意見

というのはやはり大きいです。皆さんからの意見を踏まえてやっていこうという方針で、我々も考えていますし、そういうふうにできているので、よろしくお願いします。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございます。続きまして、手が挙がっている方おりますので、進めてまいりたいと思います。順番に手が挙がったので、マイクをオンにして、ご発言をお願いします。

(○参加者 11)

今日はどうぞよろしくお願いいたします。はい。リモートに参加するっていうのは本当にパソコンも何もわからないので、今娘の協力を得ながらやっていますのでよろしくお願いいたします。私は、私自身も、新花巻図書館を考える会の一員です。私たちの会としても建設場所はですね、元花巻病院跡地を希望しております。いろいろ今まで話しされた方もありますが、私の考えの中から3点をお話しさせていただきたいなと思います。ただ、お耳汚しになるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。ええと、花巻、元花巻病院跡地にお願いしたい理由の一つとして、やはりこの、病院跡地は宮沢賢治にゆかりがたくさんあると。ほかにも、ゆかりがあるところはあるんですけども、最も深い、宮沢賢治の作品やなんかを生み出したところが、心のよりどころになっているところがこの花巻病院の跡地の、彼が教鞭をとってましたね、花巻農学校に勤務したということではないかなというふうに考えております。いろいろ子供たち、生徒たちのことを想って、精神歌をつくったりですね、童話を考えた彼の心を想うと、私はそのように思えるのですが、ぜひこの花巻跡地っていうのは大切な所ではないかなって思います。あとまたこの、花巻病院はですね、第二次世界大戦の終戦間際に花巻空襲を受けたときですね、この病院の若い看護師さんやお医者さんたちが、献身的に負傷者を看護して、尽くしたということと、高村光太郎も感動して、『非常の時』という詩を作詞したと言われております。こういうゆかりが深いところは、やっぱり子供たちにも、是非継承して、伝えていきたいところかなと思います。歴史的にも花巻城址の跡として、ゆかりの多い所であるだけに、大切にしていきたいところではないかなと思いますので、まなび周辺に、花巻城跡地をお願いしたいというふうに思っております。あと、二つ目としてはね、図書館は若い人たちだけが使うんじゃないですよ、若い人たちに活動してもらいたいと、市長さんの気持ちも分かるんですけども、図書館はやっぱり子供から高齢者、障がい者の人、子持ちの人達っていう、この施設の場所になつてると思います。自然に囲まれて静かなところで、心の安らぐような空間の広いところがあったらいいなと私自身も高齢者ですので、そう思っております。広い芝生や屋上に樹木を植えたりとかで解決するのではないと思うんですね、自然というものは。はい、生涯学習課の皆さんや市長さんに前にですね、署名を2,100筆の署名をお届けした際に、市長さんは、元花巻病院跡地の駐車場、元花巻病院跡地であれば、駐車場に樹木を植え、緑の多い公園にすることも可能であ

るということをお話しされたことがあり、私も感動しました。ぜひそういう、実現すればというふうに期待しております。あと三つ目としては、まなび学園は、多くの市民の方たちが趣味や学習、展示などに利用しております。体育館も傍らにあり、側にあり、若い人たちがですね、抽選しなければならないほど、利用されているようです。こういうところの近くに図書館があるということは、生涯学園都市構想にもすごくマッチしていて、ふさわしいのではないかなというふうに思っています。ワークショップに私も参加させていただいたんですが、そのときに、皆さんの中からですね、賢治の里の図書館として、市だけじゃなくて、県、国内の人たちにも、すばらしい図書館だと言ってもらえるような日本中に誇れると図書館にしたいという声が多くありました。私もそうだなというふうに思っております。どうぞ、市長さん初め、担当部局の方々のご一考をよろしくお願いしたいなと思っております。

たくさんのお願いですが、このような今日のリモートでの話し合いは何かパソコンで見ただけじゃなくて、やはり参加した人たちにも印刷して配布していただければ大変ありがたいなと思います。前回も、あと6日にお話される方々のご意見も、私聞きたいと思いますので、ぜひ、私は文字でしかわからないので、文字で分かるように、お願いしたいなというふうに思います。よろしくお願いします。終わります。ありがとうございました。

(○生涯学習部長)

はい、ご意見としていただきます。あと、冒頭にもお話ししたんですが、今回の件につきましてはホームページで文字起こしして、ホームページで見られるようにしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(○参加者11)

ホームページは、パソコン持ってる人でないと見れないので、そうでない人にも分かるようにご配慮をお願いしたい。

(○生涯学習部長)

それでは紙で、希望者にはお渡しできるようにということですね。わかりました。

(○参加者11)

はい、そうですね。よろしくお願いいたします。

(○生涯学習部長)

はい。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。

あとですね、お二方手が挙がっておりまして、すいませんが、時間が来てしまいますので、お二方の質問でとめさせていただきたいと思いますが、お願いいたします。マイクをオンにしてご発言お願いいたします。

(○参加者3)

いいんですか。うん。あとでまとめて文書で出せばいいかなと思ったんですが、ちょっと意見を、じゃあ。私はもうその、駅にするか、駅の近くにするかあと病院跡地とするかという話で、色々な意見が出たと思いますけれども。まず、参加者の中で、なぜ市有地があるのに駅の方にするのかっていう。まずお金がかかりますよと、その市有地を使わないとと言いますが、お金、その維持費というのが、例えば、補助金なんかで建てるんだろうけども、維持費っていうのはその借地代だけでなく、全部含めた維持費ということを先ほど事務局のほうから言ってましたけども、総合的に考えるべき問題なんだからそこだけ言たって駄目なんじゃないかなというふうに、思っております。それから、場所についても、なんか最初の説明のときに、割と20代とか若い人たちも、意見を聞いたときもあるみたいで、そのときは駅のほうも、利便性がいいよという意見は結構多かったように私は聞きました。私も駅のほうでもいいんじゃないかなと思います。それからもう一つ理念のお話してましたけれども、宮沢賢治とか、萬鉄五郎とかそういう先人の立派な方がいらっしゃいますので、そういった立地を活かすというのはわかります。だけど私は前、あの花巻には、梅原廉（うめはらきよし）さん、学者の方、先人、歴史学者がいましたけども、あの方の花巻の歴史の講演を聞いたことがありますけども、花巻の場合には、武士とか階級にこだわらず、一般庶民も学びたい人を入れて、勉強した場所があったと。この鶴陰碑について話したのかもしれないですけども、これはすごくすばらしいことだというふうなことをおっしゃってました。これすばらしい、私、こちらのほうが理念としてすばらしい市民に開かれた学びの場を提供する場所ということで、いいような気がしますし、世界的に見ても。いまだに身分が、もうそれによってね、まともな教育を受けられない人が世界中にたくさんいます。花巻では江戸時代からそうやってきたんだよというのはすばらしいことだなと思うので、その理念はもう本当によき伝統を継承していくという考え方がすばらしいんじゃないかなというふうに私は思っております。あとちょっと言いたいことあるんですが、私、口下手なものですからもし時間があったら、簡単にまとめたものを後で送りますので、よろしく願いいたします。

(○生涯学習部長)

はい。わかりました。ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。では、また、ペーパーのほうお待ちしておりますので、よろし

くお願いいたします。

(○参加者 3)

ありがとうございました。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。それではすいません、最後手が挙がってましたので、お願いいたします。

(○参加者 2)

ずっと皆さんの意見を聞いて最後になりましたけれども。率直な感想はですね、ずいぶん遠回りしたけれども、やっと図書館論議のスタート台に着いたなと。花巻の図書館問題は今日 1 月 31 日をもってスタートするんだなあとということを非常に実感として感じてます。ということですね、提案というかお願いなんですけれども、前回と今日の出席者参加者 11 人、そのうち 6 人は第 1 回目、同じ顔触れです。まさかとは思いますが、今回の、あと 1 回ありますけれども、今回このリモートによる意見交換会をもってですね、意見交換会が終了したという、一つの既成事実として、今後固定化していくということは、まさかあり得ない。わずか 11 人の意見をですね、市民の意見交換会ということで、政策に反映するっていうのは、どう転んでも不可能なんです、これはもう 1 回、菊池さんもおっしゃってましたけれども、今日をもって図書館問題を考える市民サイド、市民目線ですね、そのスタート台にしてほしいんで、ぜひともやり直してほしいと。全てを。だからこの意見交換会ももちろんですね。大体リモートの難しさもわかりましたんで、コロナ禍においてあとどういう手段が可能なのか。さっき提案ありました子どもが集まる子育て広場とかですね、そういう場所で、実際人がいるところに向いていって、出前意見交換会をするとかですね、そういうことをもう 1 回ですね、これはチャラにしてですね、あと 1 回ありますけど恐らくあんまり期待出来ないんでチャラにして、もうやり方を考えて、図書館問題一からやりましょう。今日そういう意味で非常に有意義な意見がたくさん出たんでですね、市川さんあんた大変だけれども、もう 1 回頭冷やしてですね出直して、トップにそういうこともちゃんと行ってですね、あなたが言ってしんどいかもしらんけど行ってですね、直談判してもう 1 回やろうよ。ね、そういうことです。

(○生涯学習部長)

はい、ありがとうございます。ご意見としては承りますが、全てをチャラにしてっていう、その全部なしにするっていうふうには考えておりません。ただ、今回この 3 回のリモートで市民との意見交換を終わりっていうのは考えてません。まずやってみたわけですけど、ご指摘のとおり、人数は少ないわけですね。これではやはり、一般の方と言うと変ですが、様々な

意見を聞くことはまだ出来てないと思います。高校生とかもありますし、若い人たちもあります。そういう意見、先ほどあった例えば保健センターで聞いてみるとかですね、いろんな方法は検討していきたいですし、ご指摘もわかります。蔵書に関する部分など、しっかりそこは検討していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(○参加者2)

そういうことでよろしくお願ひしたいのはこっちだけでも、具体的にね、今回の3回で、意見交換会の反省点も含めて、動員も少ないということも含めてね、つまり市民意見交換会をまた別の形でやり直すということはここで約束してくださいよ。とてもじゃないがこれで市民の意見集約なんてあり得ないんだから。その辺だけは今後の課題としてね、実際実行するということぐらいこの皆の前で約束していただけないか。

(○生涯学習部長)

やり直すとかですね、皆さん参加していただいたわけですよ。時間を割いて、今回。これについて場も全くチャラっていうのはないです。やっぱり皆さんの意見を聞いて、参考になる部分はたくさんあります。2回やりました。

(○参加者2)

意見交換会をチャラにしろと言ってるんじゃないの。あのね、僕がチャラにしろと言ったのはね、いわゆる図書館論議が今日始まったという意味でね、これまでのことについてはチャラにしましょう。しかし、今日の意見交換会は貴重な意見たくさん出てるんだから、それをチャラにするじゃなくて、これをさらにですね進化させた形で意見集約できることをね、もう少し考えなさいと言ってるの。

(○生涯学習部長)

それはわかりましたそのとおりです。もっと考えていろいろ意見は集約していきたい。と思ってます。これ以外の方法もたくさんアイデアをいただいたので、考えさせてください。

(○参加者2)

もうあんまり先の事を考えないで、まずとにかく市民の意見を集約することだけ全力で注力してくださいね。

(○生涯学習部長)

はい。ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。それではですね、ご案内の時間になっておりましたので、本日のところは以上にさせていただきたいと思います。

(○生涯学習部長)

意見があって、書いてご説明なりしたいとおっしゃる方は書いていただければ、こちらの議論を深めていきたいと思いますので、後でいただければと思いますので、よろしくお願いします。

(○生涯学習課 菊池)

それでは、本日の新花巻図書館整備に関する意見交換会、リモートの開催でしたが、以上で終了したいと思います。皆様大変ありがとうございました。